

財政健全化計画等執行状況調書

団体名	北海道当別町
会計名	水道事業会計

1. 地方債現在高・公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	基準年度
計画目標値 A	1396	1537	1692	1846	1994	1214
実績(見込)値 B	1331	1537	1692	1846	1994	
乖離値 C(B-A)	-65					780
乖離率 D(C/A)	-4.7%					64%

※実績値には下線を引くこと。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由

(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

2. 実質公債費比率・累積欠損金比率

(i) 推移表

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	基準年度
計画目標値 A						
実績(見込)値 B	0.84%					
乖離値 C(B-A)	0.84%					
乖離率 D(C/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※実績値には下線を引くこと。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由

平成19年度において、給水量の落ち込みに伴う給水収益が減少したことにより欠損金が生じた。

(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

給水収益の減少傾向は、一般家庭における節水などにより今後も続くことが考えられるため、欠損金を解消するためには、経費の削減を徹底することにより、20年度以降においては欠損金の発生は解消する見込みである。

3. 職員数

(i) 推移表

(単位:人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	基準年度
計画目標値 A	9	9	9	9	8	8
実績(見込)値 B	9	10	9	9	8	
乖離値 C(B-A)		1				
乖離率 D(C/A)		11.1%				

※実績値には下線を引くこと。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由

(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

平成20年度において上下水道課内における配置見直しにより1名増員となるが、平成21年度以降は計画とおりの職員数となる見込み。

4. 改善額

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計	補償金免除額
計画目標値 A	8	8	6	4	11	37	26
実績(見込)値 B	4		8	8	16	36	
乖離値 C(B-A)	-4	-8	2	4	5	-1	10
乖離率 D(C/A)	-50.0%	-100.0%	33.3%	100.0%	45.5%	-2.7%	38%

※1.実績値には下線を引くこと。

※2.補償金免除額合計欄には、当該計画の「I 基本的事項5線上償還希望額等」の補償金免除額欄の合計に記載している金額を記入すること。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由

平成19年4月に職員を計画より1名増員したことによる。技術職員1名を収益的から資本的にシフトしたことにより、資本的支出の職員給与費は増加したが、収益的支出の職員給与費は結果的に増減はない。

尚、職員数の実績が計画と同数(9名)となっているが、このことは平成19年12月に職員1名が退職したことによる。

(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

職員給与費については、「3. 職員数」で記載したとおり平成20年度において上下水道課内における配置見直しにより1名増員となるが、平成21年度以降は計画とおりの職員数となる見込みによる改善額が見込まれる。

また、平成21年度から営業収益(その他)において、下水道使用料徴収受託料の単価の見直し(1件当たり150円→200円)による収益の増加を見込む。